

都市計画道路 新屋土崎線（旭南）街路事業

●事業目的

本路線は、秋田市都心部を南北に縦断し、秋田市の骨格を形成する主要幹線道路で、1日当たり約26,000台と秋田市内でも特に交通量が多い路線です。また、第二次緊急輸送道路にも指定されており、防災上も重要な路線となっています。

北側の山王工区が完成し4車線化されたものの、当該区間が3車線のままとすることで、慢性的な交通渋滞が発生しており、交通の円滑化が急務となっています。

そのため、交差点部の拡幅や幅員構成の見直しによる4車線化を実施し、慢性的な交通渋滞の解消を図ることとしています。また、無電柱化（電線共同溝）を実施し、災害時における輸送路・避難路としての防災機能の向上を図ります。

●事業概要

事業箇所 秋田市川元小川町 他

延長 L=1,125m

幅員（現況） W=20m（3車線）

幅員（整備後）

- ・一般部 W=20m（4車線）
- ・交差点部 W=23m

事業期間 H27～

総事業費 約41億円（予定）



国土地理院の電子地形図を掲載